

第50回 全国高等学校選抜バドミントン大会 苫小牧地区予選会 開催要項

1. 主催 苫小牧地区バドミントン協会
2. 共催 北海道高等学校体育連盟室蘭支部
3. 期日 <個人戦> 令和3年11月23日(火)
午前8時 開場、午前9時 競技開始
<団体戦> 令和3年12月4日(土)
午前8時 開場、午前8時30分 監督会議、午前9時 諸連絡
午前9時30分 競技開始
4. 会場 <個人戦> 苫小牧市総合体育館
(苫小牧市末広町3-2-16 TEL 0144-34-7715)
<団体戦> 北海道苫小牧南高等学校
(苫小牧市のぞみ町2-1-2 TEL 0144-67-2123)
5. 競技種目 学校対抗団体戦、個人戦 男子・女子の各単・複 計6種目
6. 競技規則 現行の(公財)日本バドミントン協会競技規則、大会運営規則、公認審判員規定による。
7. 競技方法 各種目ともトーナメント方式とし、3位決定戦を行う。
8. 使用器具 (公財)日本バドミントン協会検定合格水鳥シャトル及び検定合格品とする。
9. 参加資格 (1) 胆振東部・日高の高等学校、高等専門学校に在籍する本協会に登録済みの1・2年生。
(2) 当該校長が出場を認めた生徒。
(3) 令和3年度高体連災害補償制度に加入または加入の意志のある者。
<個人戦>
各学校の参加人数は、シングルスについては推薦選手を除き5名以内とし、ダブルスについては参加制限はしない。また、同一選手が単・複を兼ねて出場する事ができる。
<団体戦>
1チーム、選手5～7名・監督1名・コーチ1名・マネージャー1名の計10名以内で編成し、競技中ベンチ入りできる者も同様とする。
競技は2複3単とし、複1→複2→単1→単2→単3の順に試合を行い、3マッチ先取で終了とする。単1に出場する選手は他のマッチに出場することは出来ない。
なお、団体戦の選手・監督・コーチ・マネージャー変更は試合当日の監督会議まで認められるが、追加はできない。
10. 推薦選手 令和3年度北海道バドミントン選手権苫小牧地区予選 男女単ベスト8以上の選手
11. 参加料 <個人戦> 1人1種目 1,000円
<団体戦> 男女各1チーム 10,000円
※団体戦・個人戦とも個人戦の試合当日(11月23日)に納入すること。
12. 参加申込 (1) 別紙申込用紙に男女別、ランク順に記入し、下記宛に申し込むこと。尚、生年月日・協会登録番号も明記すること。
※団体戦において、複数校で混成チームを組むことはできない。
※ダブルスにおいて、異なる学校でペアを組むことはできない。
(2) 申込先 〒053-0035 苫小牧市字高丘6-22 北海道苫小牧工業高等学校内
平井 俊輔 宛 (TEL 0144-36-3161 FAX 0144-36-3166)
e-mail : tba-hs@tomaba.com
※原則としてe-mailで申し込むこと
(3) 申込締切 令和3年11月10日(水) 正午必着
(申込の不備をさけるため、参加しない学校は、その旨を必ず連絡すること。また、e-mailで申込の場合は、必ず返信を確認すること。)
(4) 申込書の入力に当たっては、各セルのコメントに従うこと。
(5) 申込書のファイル名は「選抜予選(〇〇高校)」とすること。

13. 表 彰 各種目とも第3位までとする。
14. 組合わせ <個人戦> 令和2年11月15日(月)に本協会競技委員会がシード法により行う。
<団体戦> 今大会の個人戦の結果を含め、今年度大会の1・2年生のポイント累計数により第4シードまで決定する。シード校以外の学校は、団体戦当日の監督会議にて抽選を行う。
15. その他 (1) ユニフォームは、(公財)日本バドミントン協会審査合格品とする。
(2) 上着の背面には学校名(+ブロック名)を明示すること。
(3) この大会の**各種目3位まで**は、南北海道大会(令和4年1月12~15日 函館市)の出場権を得る。
(4) この大会の団体戦ベスト4は、令和4年度高体連室蘭支部予選会のシード校となる。
(5) 本年度は、新型コロナウイルス感染症対策として下記のとおり実施する。
① 当日に体調不良もしくは、2週間以内に発熱等の症状がある選手・顧問・高校運営委員・大会役員・報道【事前連絡で許可した方】(以下、大会関係者)は、参加を控えること。
② 大会関係者は、マスクの着用を徹底し、試合以外でマスクを外すことは避けること。
③ 入場者の制限を行う。観客席及び競技場へ入れるのは大会関係者のみとし、それ以外(保護者、兄弟姉妹、OBやOG等)の方には入場は控えてもらう。また、選手以外の大会関係者は、大会当日受付時に配布するネームプレートを着用すること。
④ 選手及び顧問は、別紙「健康状態観察シート(個人・別紙2-1)」を大会2週間前から記入し、顧問が1ヶ月間保管する。また、その情報を「健康状態観察シート(個人・別紙2-2)」及び「健康状態観察シート(団体・別紙1)」に記入し、参加者全員が学校ごとに取りまとめ受付時に提出する。特に当日朝の検温まで必ず記入すること。
⑤ 密を避けるため、当日の入場時間を指定する。その時間を厳守すること。各校の会場時間については別途連絡をする。
⑥ 開会式は行わない。競技開始前に放送にて注意事項を説明する。
⑦ 各コートにおいては、主審台・線審席・コーチングシートを設置しない。
⑧ 選手同士の握手は行わない。
⑨ 主審のコールは、「プレイ」「フォルト」「レット」「ゲーム」のみとし、ポイントのコールは行わない。(得点板に間違いがないか適宜確認する)
⑩ 各試合のインターバルは設けないが、ゲーム中間・ゲーム間に水分補給を行えるようにする。また監督・コーチのゲーム内のコーチングは、極力控えること。
⑪ 参加者は各校ごとに指定された席につくこと。他の席に移動することは控える。
⑫ 応援は、声援を不可とし、ギャラリー上で席を移動しての観戦も行わない。
⑬ 大会関係者は、当該の試合・審判等が全て終了し次第、速やかに帰宅するよう各校の責任者が判断する。
⑭ 設置されている消毒液で、随時手指の消毒を行うこと。
⑮ 本大会は、(公財)日本バドミントン協会(令和2年6月12日付け)の『新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン』にもとづき、大会運営を行っていく。
https://www.badminton.or.jp/covid-19/docs/ActivityGuidelines_20200604.pdf